



インタビュー

Vol.50

あかばね塾

大場可さん・渡辺幸久さん

——ウミガメ観察と保護のきっかけは。

あかばね塾は1991年に旧赤羽根町で街づくりの活動団体として発足しました。その翌年、赤羽根にウミガメが産卵に来るという情報を得て、観察が始まりました。

——30年以上にわたり、ウミガメの観察を続けているわけは。

1992年6月29日午後4時頃に高松の浜で産卵に来たウミガメの観察ができました。産卵を終え海に帰っていく母亀が、海に帰る前にこちらを向き、卵をよるしくと3回前足を振っていきましました。頼まれたからには応えたいとの思いで頑張っています。

——ウミガメ保護のためどのような活動をしているか。

当時は浜に乗り入れる進入車両の防止看板を立てたり、ビーチクリーン活動を始めました。また6月から8月半ばまで毎朝、浜でウミガメの上陸があるか観察しています。さらに小学生と一緒にウミガメの観察や放流について学んでいます。

——名古屋港水族館と関係があると聞いているが。

名古屋港水族館のウミガメのバックヤードに赤羽根の浜の砂が使われています。また子どもたちと一緒に放流の時には、赤羽根まで子亀を連れてきてもらい手伝ってもらっています。

——これからのウミガメ保護活動の方針は。

自分たちができるまで頑張ります。その後は時代に任せたいと思います。でも最近協力してくれる若者たちが少しずつ増えてきたような気がします。



(聞き手内藤喜久枝) 令和8年6月取材



発行/愛知県田原市議会 編集/広報広聴委員会 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 ☎ 0531-23-3533 FAX 0531-22-5952

📄 <https://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/> ✉ gikai@city.tahara.aichi.jp

安心とやさしさのにじいろ

株式会社ケアサポートのにじいろ

- ・シニアハウスのにじいろ田原
 - ・訪問介護のにじいろケア
 - ・デイサービスのにじいろ田原
 - ・のにじいろケアプランセンター
- 田原市豊島町道南22番地3 代表TEL 0531-29-0501

募集

パートさん
しその葉の摘み取り作業

内職さん
しその葉の結束・パック詰め

(応募) まずはお気軽にお電話ください。

TEL 0531-37-0447

(有)前田園芸 田原市江比間町二字郷中45
自宅: TEL0531-37-0447